

防災の日

副院長 兼 脳神経外科部長 すずか ともなお 鈴木 知直

「僕 そのこと知っているし、良く分かっているから…」
「知っていること」「行いうことが出来ること」と「実際に
行いうこと」には大きな差があることは誰でも経験するこ
とではないでしょうか。

9月1日は二学期の始まる日であったり僕の友人の誕生
日であったりしますが、全国的には「防災の日」です。
1960年に制定され、日付の9月1日は1923年に発生
した関東大震災にちなんでいます。

日赤ニュース9月号が発行される時期は防災週間
でもあり、皆さんも防災訓練のお知らせを目にした
り、参加されているのではないのでしょうか。

災害は大規模地震だけではなくこのシーズン台風等
による氾濫や土砂災害、それに伴う停電なども日常を中
断させる出来事です。

被害が大きくなればなるほど、その時にどのように動
けばいいのかが役割の分担と共にお互いの連絡・連携
が重要になります。

どのような状況になっているのか・やるべき仕事・役割
を考え・知ることから始まり、共働作業をするための連
携の仕方を構築確認したり、準備されている資材をどの
ように活用するか、訓練は決まったことをするのはあり

ません。訓練に参加をして、「判っ
ている」だけではなかなかうまく
いかないことを実際に経験して
もらうことが大切です。

自然災害を防ぐことは難しくと
も、二次被害を防ぐために対策を
立てておくこと・訓練をすること
の重要さは判っています。皆さん
に参加してもらい役割を判りやすく納得してもらうた
めには、応用力が付いたことを実感してもらうことが必
要で、生活の中でそのことが普通であるようにさせる工
夫も訓練の中に入れて行かねばなりません。きっとこの
ことは防災だけではなくいろいろな場面でも言えること
なのでしょうね。

浜松赤十字病院が災害拠点病院として地域から「頼
りにしているよ」と言われ、応
えることが出来るようにこれ
からも皆さんとチームを
組んでお互いの役割を確認
しながら進んでいきますの
でよろしくお願いいたします。



高校生が看護師体験をしました 看護を学びたいという気持ち新たに

7月29日、当院において『高校生一日ナース体験』を開催したところ、近隣の高校生14人の参加がありました。

憧れの白衣に着替えた参加者は、血糖測定や食事介助をする看護師の仕事風景を見学したり、患者さんと直接会話をしたりして、看護師の業務を体験しました。

参加者からは、「看護師になりたい!という気持ちがより一層強くなりました」という言葉をいただきました。

※『高校生一日ナース体験』は、静岡県看護協会と病院が協力して、高校生の進路選択の一助となるよう毎年開催しています。



「改善」でより良い病院に ～職場改善活動前期表彰式を開催～

当院では、職場改善推進委員会を中心に、職場改善活動を実施しています。

職場改善活動は、「全職員が、職場の問題点を見つけ、自ら改善、また問題改善のために改善策を提案することにより、職場の生産性の向上、また、職場の活性化を図る」ことを目標にしています。

職員一人一人が、「改善」の意識を持ち、自ら考え行動することが重要です。

改善された働きやすい職場、自分自身の意識・行動力の向上は、職員の職場に対する満足度を上げ、患者さんへの「より良い医療」の提供へとつながっていくと考えています。

当院では、年に2回、職員の「改善」への意識を評価する

ために、高く評価された改善内容、また、改善策の提案に対し、表彰を行っています。

8月4日に平成26年度前期の表彰式が行われ、グランプリ・準グランプリ・院長特別賞合わせて5件、計8人の職員が表彰されました。

その中には、今年の4月に採用された薬剤師3人も含まれています。

今後も、職員一人一人が職場への問題・改善に対し意識を持ち続け、病院全体で患者さんや地域のみなさんから親しまれる病院を目指していきます。



第6回中部ブロック赤十字病院スポーツ大会に参加しました

7月27日の猛暑の中、中京大学豊田キャンパスにおいて、中部ブロック赤十字病院によるスポーツ大会が開催されました。

当院は、硬式テニスと駅伝の2つの競技に参加しました。結果は、硬式テニスが4位、駅伝が9位と好成績を残すことができました。

両競技とも、医師、看護師、医療技師、事務員と様々な職種で編成されていて、普段、あまり顔を合すことがない職員が、スポーツを通して一致団結することで仲間意識を深めることができました。

35℃を超え、とても暑い中での大会でしたが、仲間と共

に競技した後は達成感に満ち溢れ、とても清々しい気持ちになることができました。

※中部ブロック:8県18病院(愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、長野県、石川県、福井県、富山県)



新任医師紹介

みなさんよろしくお祈いします

氏名/瀬野尾 歩 せの お あゆみ

- 所属先…形成外科
- 専門分野…形成外科
- 趣味…ショッピング
- 好きな食べ物…のむヨーグルト



些細な事でもお気軽にご相談ください。

第72回 日赤いきいき健康塾

◆日時/9月27日(土)
13:30開場 14:00開演

◆場所/浜松赤十字病院 2階研修ホール

◆講師/浜松赤十字病院 きたむら きみや 産婦人科部長 北村 公也

◆演題/『早期発見できる癌・できない癌(婦人科編)』

◆対象者/150名(要事前申し込み)

●お問合せ・お申込み先 浜松赤十字病院 総務課

電話:053-401-1111(代表)

入場
無料



やさしい 疾患手帳

顎関節症と習癖のはなし

やまもと のりゆき
山本 庸介
歯科口腔外科部長



Profile プロフィール

- 所属…歯科口腔外科 ●役職…部長
- 専門分野…歯科口腔外科全般、顎変形症
- 趣味…休日料理
- 好きな食べ物…新鮮な魚、旬の野菜

た状態では口唇を閉じていても上下の歯が1~3mm程度離れています。上下の歯が接触するためには弱い力であっても咬むための筋肉を使っているのです。咀嚼・嚥下・会話などの機能時に上下の歯が接触する時間は意外と短く、計算すると1日約17.5分と言われています。この文を読みながら上下の歯がどこかで触れている方はTCHがあるかもしれません。肩の力を抜いてリラックスしましょう。



「口を開け閉めするとカクカク音が鳴る(関節雑音)」、「開け閉めすると痛い(顎関節痛・筋痛)」、「口が開かない(開口障害)」のいずれかの症状があれば顎関節症と診断されます。平成23年度の歯科疾患実態調査では25~29歳の女性では35%の人に関節雑音があると報告されています。アゴの音だけ鳴っている人は珍しくなく、治療をしなくても7割の人は1年の間に症状が改善します。過去には咬み合わせだけが顎関節症の原因であると考えられていた時代もありました。しかし、現在では咬み合わせだけではなく頬杖、歯ぎしりなどの習癖やストレスなど、いくつもの因子が重なった結果として症状が発生すると考えられています。

近年、顎関節症との関連が注目されている日常習癖にTCH(Tooth Contacting Habit 上下歯列接触癖)というものがあります。強い力で咬みしめるのとは違い、無意識に絶えず上下の歯を接触させている習癖です。通常、安静時に筋肉がリラックスし

浜松日赤ニュース 担当者からのお知らせ

浜松日赤ニュースは、9月号以降は隔月発行とし、紙面を拡充させていただきます。次号は、11月に発行いたします。